

業大神清浄一切天地 行齋祭禊祓道神和大

大和の光

7月号

《発行所》
大和教団
仙台市青葉区錦町2-4-24
大和教団本庁
電話(代)022-261-2525番
振替 仙台02220-3-45512
発行人 大和教団 定価50円



神紋
八咫鏡と太陽をかたどったもので、国家の隆昌と世界の共存共栄を意味しております。

霊言の和

寝る暇もないほど仕事のあることは人間として、最高の幸福である。
(大和神典 第三之二九七言)



六月一日、水無月に入る。壹千日謹行も六四〇日となった。月始祈願祭にて、新型コロナウイルス感染症拡大の鎮静と、併せて信者の皆さんの疫病退散・家内安全の大國主大神禁厭祈禱を施す。五百名程の人たちが心を寄せられた。必ずや大きく護られるものと信念す。

この後、壹千日謹行、教座をなし、特別みちひらき第十三回の講義をす。朝食後、教師の皆は実践布教に入った。

五月二十七日より六月十二日迄は、連日のごと、特別神事執行となる。謹行後の執行の為にかなりハードな日々ではあったが、信者さん皆の救われし笑顔に力を頂く喜びがある。開祖様をふと偲ぶものであった。

六月十一日、教主誕生奉告祭を齋行す。本年はこれまでの祝詞とは異なり、教主自らが数え歳七十六才を迎えしごとに、更には教統継承二十五年の神奉仕に感謝を申し上げさせて頂いた。教統継承時の開祖様よりの贈る言葉(六月号掲載)を奉らせて頂いた。真の教師を育てることの仕事を為さねばない。教勢の道を開くにはこの道しかなきを心に刻むものであった。祝賀会の参列を自粛するものではあったが、教職員等とこれからの布教展開の勇気と熱情を共有する神儀となりしに感謝すものである。

十四日には、本教特殊神事である大宇宙の清めたる天地一切清浄大神業と称う、吾が開教大神國主大神の主宰せる祓禊祭の第一番目之神儀である本部、本宮、分祠、教会、支教会、遙拝所、支部、篤信者家庭に奉齋されし御神像御分霊の一年のご神護に感謝せるお清めがなされた。天真名井の御神水と大海原綿津見の御神水による甦えりのお清めの神儀ではある。

この後、還幸祭が齋行された。初めて齋主を奉行せし畠山真由美教師も立派にその任を全うされたとの報告を受く。なによりであった。翌、十五日より二十日の朝までは



壹千日謹行と併せて神在祭を私がお仕えさせて頂いた。お清めの後の御神像の表情は誠に和顔、微笑みの表情を醸されしを観るものである。御神霊の力強き気吹を感じするものである。日々大神等の靈威靈力を拝し賜りて、これよりの善導救済への根源の力となせしものである。

二十日午後二時よりの前日祭も、畠山真由美教師が齋主を奉仕、随員参行、代参参行、霊神・諸霊参行の御名を言上げす。一千名、一千柱程の顕幽界の祓禊大神業の奉仕となる。神界・現界・霊界の正に三界調和の壮大なる大神業の序幕ではある。

翌、二十一日、初夏の如き青天の

下、我れ教主大先達となりて本祭を齋行す。

本殿での厳肅なる祈りに引き続き、御本宮大広前に舗設されし大火壇よりの御神火と天真名井、大海原の御神水をもつての火水の御神威を拝し三界調和の大神事・大神業が執行された。この後、田中道敏、熊川知長教師による天之鳥船行事、神人和楽の行事が明るく元氣よく行された。老若男女の信奉者が正に神身成就の姿と顕現されし高天原を顕成すものであった。霊神、諸霊も更なる霊の清めとなり、靈威靈格の向上は云うまでもなきことではある。本殿に復座し修了奉告祭をなす。再び大広前の六・五メートルに及ぶ勇壮なる御神柱の立柱御台に上りて、福縁幸栄をお授けする散餅散銭の儀を奉仕す。皆さんの笑顔と歓声の神人和楽の高天原となり、八日七夜の天地一切清浄の大神業はここに目出度く行修されしなり。コロナ禍の影響にて動員成り難きは詮なきなりしも、心ある信奉者の信心の力は必ずや世の清めとなりしをの絶対の信を心すものである。

水無月の行事も二十五日、二十六日の第十五回特別みちひらき・生久栄人実践布教にて結行されしなり。来月は大市神山・三山参詣登拝行事が願望成就の神業として始まる。

昏迷の世情なればこそ、昨年を大きく超える行とせねばない。それが大和ではある。

大神の稜威輝く大宇宙の清めの神業に万物幸栄ふ

令和二年六月二十七日
壹千日謹行六六六日
教主

大和神道祓禊祭

大和神道祓禊祭は、参行者自らが神身となり、神に連なり天地一切を清めなす本教一大特殊神事である。

業大神浄一切天地宙大宇大



儀式後、盛大に散餅散餅の儀が執り行われた

し事を奉祝申し上げた。十五日よりは毎朝六時教主様齋主千日謹行と併せて教主様齋主のもと神在祭が二十日まで執行され、日々一年間の感謝が捧げられた。二十日午後二時からは齋主島山真由美教師のもと前日祭が齋行され、引き続き直会が行われた。本祭を迎えた二十一日は梅雨晴れのもと、午前九時半、副齋主以下祭員、随員は大鳥居前より参進、御本殿へと入殿し、齋主教主様は東回廊よりご入殿申し上げた。

本年の『大和神道祓禊祭』は十二日齋行の御神柱伐採清祓之儀に始まり、十四日には大國神社御鎮座神像境内社御清之儀並還幸祭が齋行され、御本殿前には各分祠、教会、篤信奉者宅にて奉齋されし御神像がご帰還申し上げた。

午前十時、齋主島山真由美教師のもと御清之儀が執り行われ、大海原で汲み上げられた綿津見之御神水並天真名井の御神水をもつて全ての御神像をお清め申し上げた。

続く午後二時からの還幸祭も島山真由美教師が齋主となり、全国各地に祀られし御神像が大國神社に集い



おことばを述べられる教主様

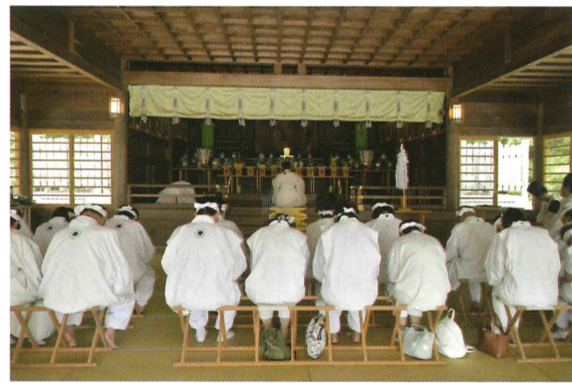


齋主教主様により神在祭が日々齋行された



大國神社鎮座御神像御清之儀

典儀より開祭詞が告げられると修祓の後、齋主教主様より祓禊祭詞が奏上され、大宇大宙神浄天地一切清浄大神業執行の旨が祈念された。続いて典儀により大宇大宙清む天地一切清浄大神業執行が宣され、祭員、随員、参列者は御本殿前神庭へと移動、火風結界秘言、十字神傳神法、火壇点火之儀が順に執行された。御神炎は勢いよく天に立ち昇り、祭員により火、塩、水、米、酒の五段之祓が執り行われ、参列者は随員による綿津見之御神水、天真名井の御



齋主島山真由美教師のもと還幸祭が齋行された

神水にて清められた。次いで教主様による神直日之神事、天沼矛之神傳、第五神界秘言が申され、教主様により随員、参列者は一人ひとりが御清浄を受け神事が厳かに執行された。



御神炎にご祈念を申し上げる教主様

この後、随員、参列者が御神柱を真中に大きな輪となり、田中道敏教師が道彦のもと天之鳥船神事が行われた。随員、参列者はこの身このまま神身となり、天地一切清浄大神業にお任せ申し上げた。天之鳥船神事後、神人和楽おは

やし行事が行われ御神柱周りを祈念しながら三度廻り、御本殿へと帰還玉串奉奠の後、教主様により大神業にお任せ奉りし御霊神達を祓禊祭修了奉告並御分霊帰還奉告詞を以て修祭申し上げた。結びに、教主様より御親教を賜り、祓禊祭、大物生大神の尊さと御神徳等、大和教学の神髓をご教示頂いた。儀式後、散餅散餅が御神柱まわりにて行われ、参行者は尊き神々の紅白餅、福銭を賜り、祓禊祭の一切が申し修められた。



御本宮へ向けて大鳥居前より随員参進



御神柱を真中に結びの弥栄祈念

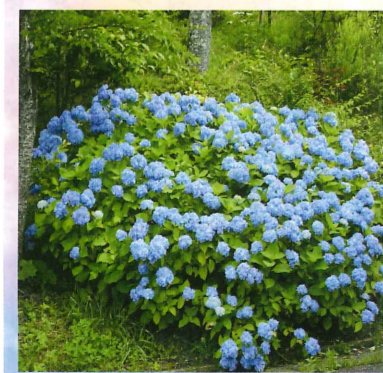


田中道敏教師先達による天之鳥船神事執行

天地の祓禊の業に仕えしは人も御霊も神の代人
島山真由美
大神の手をさしのべるありがたさ
世のみそぎこそ大和神道
品川 弓

山野草公園手記

大國神社境内地各所では、毎年七月上旬頃から色彩鮮やかな各種の紫陽花が次々と開花して「手まり咲き」となり、ご参詣の皆様のお目を楽しませてくれております。撰宮末社の巡拝に併せてご覧下さい。



令和三年 五月三十日成満祈念五千人の集い
十一月三日立教例大祭百萬願の祈り
教主義志千日御聖行の成満を共に祈りましよう
に向けて邁進致しましょう

一人が五人を導く善導奉謝行を結願し国家社会に貢献致しましょう

教主様御誕生奉告祭



感謝のお祈りをお捧げなされる教主様

教主様御親教

本日は時勢を鑑み、儀式のみの齋行とさせて頂きました。私は平成七年十一月三日に第二...



開祖様より『贈る言葉』を賜る教主様 (H7.11.3)

六月十一日午前九時より大國神社御本宮において、教主様が数え年七十六歳をお迎えになられるご奉告と...

「教師を育てなさい、教師を育てて萬民を救いなさい。」と。私は教師をまだまだ育てられていないことを...

信者さんに尽くさねばならないのです。信者さんに尽くして、尽くして尽くさねばならないのです。その力が萬民の幸せに繋がります。それを私は...



御親教を垂れられる教主様

来年の五月二十七日私の壱千日の行が成満致します。三十日にはこの御社に多くの信仰者を集めて開祖様の御心を伝えたいと願っております...



齋主品川弓教師による祝詞奏上

金剛蔵王大神御神像奉鎮座一年祭

申上げます。私たちの罪や穢れ、悩み等、様々なことをこの一年間、大神様に背負って頂きました。袋背負いの神行、私たちの罪や穢れ、その御神業に感謝を申し上げます。...



金剛蔵王大神御尊像が建立されてより一年を経た六月三十日十時半より、奉鎮座一年祭が品川弓教師齋主のもと齋行された。御神前には海川山野の神饌十一台が献じられ、齋主品川弓教師により祝詞が奏上され、引き続き参列者により玉串が奉獻された。...

蔵王隙目石の説明がなされ、これほど大きな安山岩は大変に希少であること、今後、年数が経てば経つほど色彩も深まり更に迫力や威厳が増してくるといったことを説明された。儀式後、参集殿において直会が催され、参列者は暫し歓談のひと時を過ごした。...

祖霊殿奉斎霊神慰霊祭

祖霊殿に斎奉されし霊神・御霊代奉斎美豆子之御霊・祖霊講・教信奉崇敬者御祖等の慰霊を申し上げる、「祖霊殿奉斎霊神慰霊祭」を左記の通り齋行致します。永代奉斎・祖霊講齋家の皆様をはじめ教信奉崇敬者の皆様のご参列をお待ち申し上げます。

記

とき 八月十三日(木) 午前十時

※十五分前には必ず着座下さい。

ところ 大國神社祖霊殿

初穂料 おこころ (供饌・供花料としてお供下さい)

お盆花慰霊祭

「祖霊殿奉斎霊神慰霊祭」に引き続き、ご先祖様や閑縁の御霊の御前に、真心籠った色とりどりの美しい飾り花と生花をもってお慰め申し上げる、「お盆花慰霊祭」並びに日蓮宗に縁深きご先祖様や前世の御霊の因縁浄化をはかる特別浄霊神事、「日蓮宗閑縁浄霊安鎮祭」を左記の通り齋行致します。

記

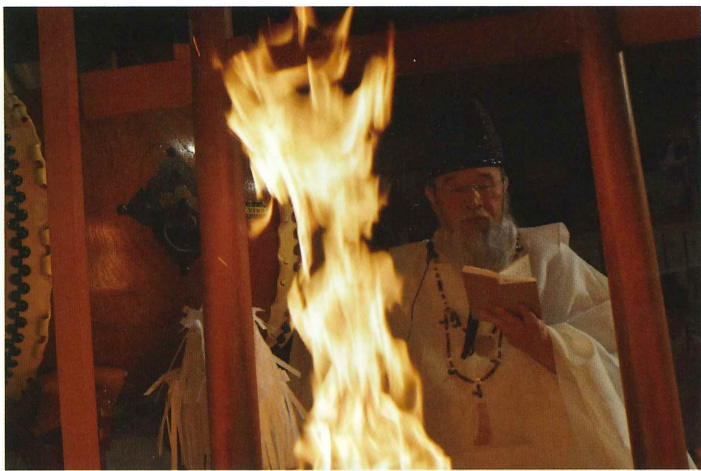
とき 八月十三日(木) 午前十一時

※十五分前には必ず着座下さい。

ところ 大國神社祈禱殿

教主様壹千日壹千座の謹行 千五百座の教座善導救済の奉謝行

七月一日、教主様壹千日参謹行第六七〇日目、併せて月始祈願祭が齋主教主様のもと厳修され、併せてこの日より八月二日までの三十三日間、大市神山山出羽三山参詣登拝願望成就みてぐら祈願並神交御下駄・ぼんでん慰霊供養の第一座が執行された。



月始祈願祭にて火祭祈祷をお仕えされる教主様

先ず、祈禱殿において齋主教主様が祝詞を奏上、夫々の祈願が大前に言上げされ心願諸願成就を祈念する火祭祈禱、鎮魂神事を執行、御本殿にて日句祭をお仕え申し上げ、引き続き、祖霊殿にて祖霊万霊祭が執行された。

続く教座会において教主様より、「大和は神身成就、自らが神身となるための信仰です。神身になるには、神様の心にならなければなりません。神様の心を分かり易く言えば、**『浄明正直』**の心です。浄く、明く、正しく、直ぐの心。今の世の中、悪いことをしても謝りません。日本も欧米流の姿になつてしましました。悪くても認めない。認めたら負け。そんな姿です。日本人は物事をまとめるため、仲睦まじくするために、自分は悪くないのに一歩下がって、相手を立てます。欧米や他の国は、徹底して争います。全て訴訟です。日本も今やその様になつて参りました。交通事故でも自分の非を認めるなど、認めると負けとなる。嫌世の中です。私たちは浄く、明くですが、今は何が正しいのか分からなくなつて世の中です。人は自分が悪いと思つていてもなかなか頭を下げられません。我々はやはり、悪いことをしたり、過ちを犯せば、素直に「御免なさい。」なのです。先ずは神様に謝らなくてはなりません。人にはなかなか謝り辛いけど、先ず神様に

謝ります。そうすると幾らかでも気が楽になります。それは私たちの心の中には、正直という心が存在するからです。後悔する、良心とも言います。良い心、この心が働きます。そうして悩むのです。

皆さん、神様の心とは何かを問われたら迷わずに**『浄明正直』**とお答え下さい。**『浄明正直』**の心は太陽の働き、それは天照大神様のお働きです。御皇室のご先祖です。神道を学ぶ者は特にです。太陽は誰にでも光と熱を与えます。求めれば誰にでもです。良いも悪いも関係ありません。この御社にも鳥居があります。その先に入つて駄目な人はおりません。それだけ神様は大らかで、全て

心をつくりましょう。そうしていくと清らかになります。悪事の多くは夜、暗闇でします。どんなことが有つても明るく生きるという力を大和は持たなくてはなりません。教師はそれをしつかりと教えて下さい。幸せも不幸せも心次第と説きます。とてつも大きく大きな力を持っています。それを自分で塞ぐか、伸ばすのか私たちはしてあります。特に教師は、自分の喜怒哀楽で人生を歩んではなりません。人様を救い続けるということとは甚だ難しいことです。希望という光をずっと掲げていかななくてはなりません。

昨日は金剛蔵王大神様の御神像をお約束です。人間同士の勝手な約束ではありません。私は御神託という神様との交流を致しますから、全てお尋ねを致します。神事は神様の心です。人間的な都合で勝手に色んな事は出来ません。ですから掟をきちんとして守れる人にならないと駄目なことです。こうして心を開いて求めると、私たちの神様は必ず力をお貸し下さいます。必ずです。大和拜一つでも心を込めて祈つて下さい。心を込めなければなりません。大和拜は火と水の力です。この宇宙の力なのです。水は横に流れます。火は縦に昇ります。それを丸く包んで、そして皆さんに幸せを与えるということです。これがしつかりと交わり睦み合つて輪で包みます。それが大和です。小さな輪ではありません。大きな輪、大和なのです。始まりも終わりもない宇宙の広がりです。そういう中に私たちは結ばれているのです。それを意識するだけで自分の心もどんどんと大きくなります。どうぞ辛い事、嫌な事は神様、おだいこくさまに引き取つてもらえるようにお祈りをして下さい。自分の心に諸々のわだかまり、それを全て大國主大神様に話して下さい。人に話してもこじれるだけです。神様は決して裏切りません。裏切るのは己の心だけです。どうぞしつかりと信仰をして人生を明るく、大切に生きて頂きたいと願っております。」との御親教を賜り月始の祭儀は結ばれた。

大和の教信奉者は 五人善導の奉謝行を 実践致します。

を受け入れて下さいます。最近は何事もなくこの御社にも賽銭泥棒が来ます。それも人の心。悪党と言われても何かしら人に善いことをしていることもあります。今が正直だとしても、都合が悪くなると隠したり、言い逃れをしたりします。人は皆そういう心を持つておられます。それを私たちは信仰で正すのです。ですからいつも**『浄明正直』**、どうすれば清らかになるのか。如何にすれば自分の心を明るく保てるのか、正しく、素直にです。全てを包含するのが神様の心。そこに私たちは進んでいくのです。とにかく明るく

建立しての一年祭でした。儀式が終わるまで天気は持ったようです。傘も差さずに済みました。神事は日時を定めた限りはやらねばなりません。神様のお祭りは絶対です。神様の

謹行・教座会に参列して、
生きる智慧を授かり、人生の
三大幸福に導かれましょう
一、**身体の健康**
二、**経済の安定**
三、**心の安心**

日句祭 参列者
日供祭 出席者
教座会出席者
六三七五名
令和二年七月十五日現在

人生儀礼
厄祓
車のお祓いは
大國神社
ご祈禱は随時
お申し受け致します
022-394-2720

8月1日	三山登拜出立
8月2日	三山登拜出立
8月5日	月始祈願祭
8月7日	月光龍神祭
8月11日	七夕祭
8月13日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
8月15日	出羽三山下山感謝奉告祭
8月15日	お盆花慰霊祭
8月15日	日蓮宗圓縁特別浄霊安鎮祭
8月15日	祖霊祭例年祭
8月25日	月次祭
8月25日	幽顯祓禊祈願行
8月28日	開祖祭・祖霊万霊祭
8月30日	大和地蔵慰霊祭
8月30日	永代奉齋之儀
8月30日	六根修養会
8月30日	理事會・後期総合役員會
8月30日	教主様特別講演會
9月1日	月始祈願祭
9月5日	月光龍神祭
9月11日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
9月11日	延命長寿祈願祭
9月13日	敬老祝賀會
9月13日	金剛蔵王大神年祭
9月13日	故保積敬二郎之命七十年祭
9月13日	故保積子ヤウ之命七十二年祭
9月13日	万燈慰霊大祭
9月15日	月次祭
9月15日	六根大行(20日)
9月19日	幽顯祓禊祈願行
9月25日	開祖祭・祖霊万霊祭
9月25日	大和地蔵慰霊祭
9月25日	永代奉齋之儀
9月28日	六根修養会